

## 議長記者会見（第39回）会見録

日時：令和3年6月30日（水）

午後2時から

場所：石川県議会議事堂

議長応接室



会見を行う向出議長（右）と安居副議長（左）

それでは、議長就任から3か月、議長として初の定例会を終えさせていただきました。

今年の3月22日に伝統ある石川県議会の第103代の議長を、18年ぶり2回目ということでございますけれど、就任させていただきました、3か月経過したところでありませう。

今定例会は、議長就任後最初の定例会であり、緊張感をもって務めさせていただきました、先ほど閉会しましたが、議長としての役割を無事果たすことができたかと思っております、これもひとえに執行部や議員の皆さん方のご協力によるものと関係各位に感謝を申し上げます次第でございます。

今議会では、新型コロナウイルスの感染拡大による事態の急変ということで、通常ではあり得なかった補正予算を編成し、昨年度に引き続き補正予算が編成されることになり、172億円を超える予算案が提出されました。

我々議会としても、執行部と一体となりしっかりと対応していかなければならないと考えます。

今後も、県民の皆様方に思いをはせながら、議長の職務を全うしていくつもりであります。

特に、新型コロナウイルス感染症については、昨年2月に本県で初めて感染者が確認されて以来、1年4か月が経過しておりますが、改めて、お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、感染されました方々に心からお見舞いを申し上げたいと思います。

過酷な環境のもと、昼夜を問わず、高い使命感を持って献身的に感染者の治療を行っていただいている医療従事者や関係の皆様々に心から感謝を申し上げる次第でございます。

本県では、感染拡大に何としても歯止めをかけるべく、先月9日に、国による「まん延防止等重点措置」の指定に先行して、「石川緊急事態宣言」を発出しました。

その5日後の14日には、本県が「まん延防止等重点措置」に指定され、今月13日までの間、県民の皆様に対する外出自粛の要請や飲食店に対する営業時間の短縮の要請など、人の流れを徹底的に抑制するための様々な取り組みがなされてきました。

このような深刻な状況を受け、5月25日には臨時会を開催し、新型コロナウイルス感染症対策の補正予算を成立させるなど、県議会としても、知事・執行部と連携し、危機感を持って、感染拡大防止に向けた対応をとってまいりました。

しかしながら、感染力が強い新たな変異株が確認されるなど、再度の感染リスクがなくなったわけではないことから、県議会としても、引き続き油断することなく、機を逸しないように、様々な施策が実行できるよう、知事並びに執行部とは引き続き連携を図りながら、県民の安全・安心な生活に向けて、取り組んでいく所存です。

今定例会では、ワクチン接種や経済対策をはじめとする新型コロナウイルス感染症対策に関して、多岐にわたる質問が各議員からありました。

執行部におかれましても、今定例会での議員からの質問の趣旨を踏まえた上で、施策の実行に取り組んでいただきたいと思います。

また、今定例会中に可決された意見書については、「意見書等調整会議」におきまして、調整等された結果、各会派から提案のあった5件の意見書のうち、「大和堆周辺水域における漁船の安全操業の確保及び外国漁船の違法操業に対する取締りの強化を求める意見書」など3件が可決されました。

可決された意見書3件については、議会としていずれも国へ要望するものであり、国会及び関係行政庁へ提出することとしております。

次に、「石川県議会議員選挙区・定数検討懇談会」の設置につきまして、

先の議会運営委員会におきまして、設置が決定しておりましたが、本日、設置し、先ほど、第1回目の懇談会が開催されたところであります。

今回の国勢調査の結果をもとに、今後、選挙区や定数について検討をしていくことといたしております。

次に、「ふれあい親子県議会教室」の開催中止についてでございますが、議会の広報広聴活動の一環として、平成26年度から開催し、大変好評を得ております「ふれあい親子県議会教室」ですが、昨年度に引き続き今年度も、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止する観点から、残念ながら開催を中止することにいたしました。

次に、東京オリンピック・パラリンピックについてであります。

オリンピックの開幕まで、1カ月を切りました。本県ゆかりの選手の皆さんには、新型コロナウイルスの感染防止も含めまして、体調管理に万全を期していただき、これまで培ってこられた力を存分に発揮をして、大いに活躍されることを心からお祈りをする次第でございます。

私からは、以上でございます。

<質疑応答>

なし